



アライグマ・ハクビシンシンポジウム2017

「拡大する外来アライグマ・ハクビシンの問題点と対策」

日時: 2017年12月10日(日)14:00 ~ 17:20

場所: 立命館大学歴史都市防災研究所 カンファレンスホール

〒603-8341 京都市北区小松原北町58番地 (駐車場はありません)

お申込み: 12月7日までにchipmunk@k-marumie.comか090-6076-7655(川道)へ
参加費無料、定員30名

主催: 関西野生生物研究所 立命館大学歴史都市防災研究所

シンポジウムはトヨタ環境活動助成プログラムの支援を受けて開催されます

プログラム (敬称略)

開会のあいさつ 14:00-14:05

講演1: 「拡大するアライグマその有効な対策を求めて: 京都と青森」14:05-14:35

川道美枝子(関西野生生物研究所・立命館大学歴史都市防災研究所客員研究員)

講演2: 「大阪府のアライグマの現状: 捕獲とアンケートによるモニタリング調査」14:35-15:05

幸田 良介(地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所
環境研究部自然環境グループ)

休憩 15:05-15:20

講演3: 「アライグマ・ハクビシンの疾病とその問題点」15:20-15:50

前田 秋彦(京都産業大学総合生命科学部動物生命医科学科)

講演4: 「全国社寺調査からみた文化財保有社寺における獣害:

アライグマ・ハクビシンの侵入被害を中心に」15:50-16:20

米島万有子(熊本大学)・中谷友樹(立命館大学文学部・歴史都市防災研究所)

講演5: 「人工知能で獣害対策~アライグマ検知カメラの研究」16:20-16:50

泉 知論(立命館大学理工学部)

質疑応答 16:50-17:15

閉会のあいさつ: 17:15-17:20